

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念、グループホーム新井の理念を原点として職員一同思いを大切にしている。月1回の職員会議にて読み上げ定期的に振り返りをしている。	法人全体の理念をもとに事業所独自の理念が掲げられており、理念の実践ができるよう、年度のホーム目標や個人目標を設定したり、毎月の職員会議の際に理念の確認をしています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の方とは、顔なじみの関係ができています。地域の夏祭りに出店したり、あいさつ運動、防災訓練と関わりを持てるよう交流に努めている。事業所の行事等にも参加して頂けるよう努めている。	近隣の小学校の生徒に定期的に来て頂いたり、小学校の運動会にも参加しています。また、さいの神や夏祭りなどの地域の行事にもご利用者と一緒に参加するなど、積極的に地域とのふれあいが心がけられています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年2回地域向けにたよりを発行してグループホームを理解して頂けるように入居者と直接関わりを持てるように地域の行事に参加してふれあいの場やなじみの関係作りに努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業計画、現況報告、外部評価の取り組みなど地域の皆様や行政、家族代表や入居者へ報告し意見を頂いている。頂いた意見は、取り入れ改善に努めている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催しており、区長、ご利用者代表、ご家族代表、市の担当者、民生委員から出席してもらっています。参加者へ事業所の状況報告を行い、会議で頂いた意見はしっかり受け止めて向上するように努力しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に出席して頂いています。日頃より相互に協力体制として電話での相談、窓口にて相談している。ケアフォーラム、施設サービス専門委員会もできる限り参加できるように努めている。	市の担当者には運営推進会議にも参加していただいております。アドバイス頂いているほか、不明な点について連絡を取り連携が図られています。また、市が主催する施設サービス専門委員会に参加して情報を共有するなど、連携を深めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員一同身体拘束ゼロに努めている。鍵をかけない対応をしている。	事業所にて身体拘束についての研修を行い周知徹底をしているほか、身体的拘束適正化検討委員会にて定期的に検討の機会を設けるなど、身体拘束をしないケアを実践しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的拘束適正化検討委員会を3ヶ月に1回6月、9月、12月、3月概ね年4回の開催を行い研修も年2回実施するように努めている。	事業所にて身体拘束についての研修を行い周知徹底をしているほか、職員の言葉遣いについても気が付いたら指導する等、虐待の防止に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	以前、成年後見制度を使用されている利用者もいて具体的に係る機会によりその都度職員に周知し理解に努めている。情報提供として行政と連携しながら相談している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	改定時改めてお伺いを立て文章にお知らせしホームにて説明して納得して頂き再契約を行っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様面会時、話できる場を定期的に設けて意見や不満点等聞き又直接言いにくいこともあるので、意見箱の説明をして入れて頂けるように説明している。	運営推進会議の場だけでなく、面会時や電話連絡の際などに気付いたことや要望は無いか確認しています。また、サービス担当者会議にはご家族に参加して頂いているほか、ホームの敬老会や誕生会にもご家族に参加して頂いており、ご家族との交流を図り意見を確認し、反映できるように努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年2回の人事考課表作成後個人面談を行い職員の意見や思いを聞いて反映させている。職員会議では、検討事項を話しあっている。	管理者は職員に人事異動の希望を確認したり、個人面談も行き、個人の要望や悩みを聞いています。また、日常の業務の中で職員から改善提案があれば、毎月の職員会議の場で職員同士で検討が行われ、改善されています。	調査時点で職員会議録の日付に誤りがある箇所がありましたので、ミスが無いように改善されることを期待します。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働き方改革にて年休取得、リフレッシュ休暇取得にてストレス軽減できるように業務の改善や休憩時間の取り方など日々改善しながら行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部、外部研修を計画的に取り入れ参加に努めている。法人本部事務局教育研修部で、スキルアップの為の勉強会、資格取得の講座も開催している。入職後、新人研修を法人合同で行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	行政と共に地域の同業者と交流する機会を持つように参加している。同法人内のグループホーム間で、事例発表会を計画して相互の意見交換、サービスの質の向上に努めている。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面接では必ず本人様にお会いし、生活の様子や困っている事、不安な事はないかなどお聞きしている。また、居宅ケアマネジャーとも連絡を取り、サービス利用時の様子を伺ったり、家族様からも本人様の普段の様子を伺い、在宅での生活に近づけるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面接では家族様が困っている事などにしっかりと耳を傾け、傾聴・共感している。入居前にはグループホームを見学いただき、不安なく入居して頂けるように話し合いの場を持っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様の生活の様子を確認したり、意向をお聞きする中で見極めると共に家族様からもしっかりと思いを伺い、対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人様が持っている力を継続できるようにできる事はお手伝い頂いたり、一人ひとりの役割を持って生活して頂いている。入居者と職員の関係作りでは会話を大切にし、昔話で今までの生活をお聞きする事で皆様からたくさんのお話を学ばせてもらっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	受診や外出の支援では家族様の協力を頂き、難しい時はホームで対応し、共に支えて行くよう支援している。面会に来られた際は最近の様子をお伝えしたり、居室でゆっくりと過ごせる様お茶をお出し、過ごして頂いている。年2回の近況報告をし、遠方であり来られない家族様にも生活の様子を送っている。	ホームでの活動の様子をまとめた事業所広報を年4回送付しているほか、ご利用者毎に近況報告を年2回作成しお送りしています。また、受診・外出・外食の支援もご家族の協力をいただくなど、一緒に支えあうことができるよう関係づくりに努めています。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方の訪問を継続できるように努めている。外出時の際は入居者の方の馴染みの場所を経路に入れたり計画している。	近所の方に面会に来て頂いたり、定期的にご自宅に出かけたり、ご家族と一緒に行きつけの美容室に行かれたりと今までの関係継続支援に努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係は日々の様子により見極め、見守りを行い、何かある時は職員が間に入り孤立しないよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後でも困り事やちょっとした事でも相談して頂ける様、努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	プランの変更時に本人様の意向を伺っている。また、日々関わる中での会話からもくみ取るようにしている。困難な場合は本人様の生活の様子から職員で検討し、意見の把握に努めている。	日々のケアの中での表情や会話の中から思いの把握が行われており、その情報は生活記録にて記録され、ケアプランの検討に活かされています。サービス担当者会議にはご本人・ご家族にも参加していただき、要望を確認しています。	
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時前の訪問調査でこれまでの生活環境やサービスの経過の把握に努め、入居が決まった際には「私の生活シート」や「私の暮らしシート」を家族様に記入して頂き、把握に努めている。	ご本人やご家族からの聞き取りにてこれまでの暮らしの把握が行われ、ご本人の生活史や暮らし方を確認しています。また、日々の生活で得られた情報についても定期的に情報の更新も行っています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の生活記録や体調チェック、関わる中での言動、表情からも心身の状態把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のモニタリングを行い、ケアプランの実施状況を評価するとともにカンファレンスを行い、6ヶ月の見直し時には家族様の意向も確認している。1年に1回はサービス担当者会議を行ない、現状に合った介護計画を作成している。	居室担当者が毎月モニタリングを介護計画の評価を行っています。また、6ヶ月に1度はサービス担当者会議を行い、ご利用者、ご家族にも参加していただき介護計画の検討を行っています。	調査時点でモニタリングシートの日付に誤りがある方もいましたので、ミスの起きないように改善されることを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアプランの実施状況については個々の生活記録に記入。特記事項があれば業務日誌にも記入し、見落としがないように共有している。毎月のカンファレンスでは日々の様子を話し合い、再確認するとともに新たな情報を共有し、今後の対応について検討し、介護計画にも活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	受診や買い物など家族様の状況により、職員が付添いを行っている。各種手続きなども家族に代わり代行している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	夏祭りなどの行事を通して地域との交流を図りボランティアの受け入れや学校区内の学校行事に参加し心のふれあいを大切に生きがいのある生活支援に努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者の主治医と連携を密にし、入居者、家族の意見を尊重し、異常の早期発見早期対応に努めている。MCネットも利用している。	かかりつけ医はご本人の希望するかかりつけ医となっており、ホームに往診も来て頂いています。受診時は原則ご家族が付添いますが、必要に応じ職員が同行し、医師との状況の確認が行われているほか、ご利用者の情報をまとめた受診表をご家族に渡すなどの情報提供も行っています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の健康チェック、特変時の対応、指示、看取り等でのカンファレンス参加や医療教育など連携により良い体制を築いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時病院の担当看護師、地域連携室、と情報交換を行い本人、家族の気持ちを尊重し退院時も担当医と多職種合同での退院時カンファレンスを行い支援を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日頃から家族とは、信頼関係を築き入院時や看取りを行った際にも、家族、主治医、看護師、介護職がチームになって、カンファレンスを定期的に行い本人、家族が安心して頂けるよう支援に取り組んでいる。	事業所として看取り介護も行う方針のもと、ご利用者の状態に応じて話し合いの場を持ち、ご利用者・ご家族の意向を確認し、ホームでできることを伝え、主治医や看護師とも連携し支援しています。	
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は、年間計画に添って救命講習会の参加、避難訓練年2回(日中、夜間)昨年度から水防訓練、連絡網伝達訓練年2回行い災害時に備え対応マニュアルを作成しシュミレーションを行っている。	毎年1回は事業所で救命講習を行っており、職員が急変時に適切な初期対応ができるようにしています。また、事業所でも心肺蘇生やAEDの使用研修を行っているほか、看護師からも指導を随時行ってもらっています。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員は、火災、地震、水害等の防災知識と機械操作の熟知徹底、地域の消防組織との連携を図り防災協力体制を築いている。災害時に備え非常食の備蓄、避難路の確保に努めている。	併設の事業所と合同で日中や夜間を想定した避難訓練を行なっています。また、緊急駆けつけ訓練も行う等、災害時に適切な対応がとれるように徹底されています。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ誘導の声かけなど他の方に配慮し耳元でささやき、気づかい対応している。落ち着かない場合も否定せず一目受け止め傾聴している	言葉かけ等が馴れ合いにならないよう、ご本人の人格を重視したケアが行えるように接遇研修の場等で徹底されています。また、契約時に広報等への写真の掲載についてもご家族に確認を得ています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴時の着替え等、入居者に選んで頂き悩まれている時は、何げないアドバイスをさせて頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	思いを大切に、その人らしい生活、主役は、入居者様であるように安心してできる居場所づくりを目指している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	散髪の助言や朝の整容の支援を行っている。古くなった衣類等ご家族様にも協力して頂いている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の旬な食材、畑の野菜等利用し、季節を感じて頂いている。皿拭きなどその方に合った手伝いをして頂いている。	ご利用者にもできる範囲で食事の準備や、後片付けも行ってもらっています。また、事業所の畑で野菜を収穫したり、笹寿司作りもしており、ご利用者の楽しみとなっています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者個別の健康状態に合った食事の提供を心がけている。食事の摂取量、水分量を日々、把握し病気を予防し、健康を維持出来るよう支援している。体重の管理にも努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の声かけを行い本人の状態に合わせて見守り、介助、義歯の管理に努めている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄日誌を記録しその人にあつた適切な対応を心がけ気持ちよく排泄できるように支援している。	ご利用者全員に排泄チェックを行ない、一人ひとりに合わせた適切な誘導、支援をしています。職員のさり気ない見守りや声かけで気持ちよくできています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックを活用し排便パターンを把握し食事との因果関係、適切な運動を取り入れ自然に排便出来るよう様にしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	心身の状態を把握し、利用者の好みに合わせた入浴を行っている。	ご利用者の希望に添った時間帯に合わせて入浴支援しています。また、入浴を嫌がる方にも職員がタイミングを考慮して、うまく誘導し入浴して頂いています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し夜間安眠出来るようにしている。環境、身体的、精神的な要因を考慮し安心して入眠出来るよう配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬状況をよく把握し状態変化に気づく様連携している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活の質を維持出来るよう可能性を生かし生きがいにつながる様にしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年間の行事計画にて外出支援を行っている。ベランダに出て季節を感じて頂ける様工夫している。	ご利用者と一緒近くスーパーに食材の買物に出かけたり、市内にドライブに出かけたり、季節に合わせてお花見や見学などの外出も実施しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホーム内での使用の機会が少なくなっているが、家族、本人相談の上、希望に応じて所持され安心されておられる。おこづかいとして金銭を預かっている方は、衣類、消耗品をいっしょに買い物に出かけている。行事等でもっと買い物支援ができれば良いと感じる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を出したいと言う希望の方はおられなかったが、電話に関しては、希望に沿えるよう努めている。自宅にいたときから定期的に安否確認の電話をしていた姪様が、週1回のやりとりは入居後から継続して続いている。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じて頂けるように生花を飾ったり植木鉢を置いている。行事での写真の掲示や手作りの作品も入居者と協力しながら作成している。	天井が吹き抜けのためとても広く感じられ、また窓からの採光が工夫されており明るく感じられます。リビングにはご利用者が作ったカレンダーや作品、行事の際の写真が飾られ、家庭的な雰囲気が作られています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にソファを置きゆっくりと写真を見て頂く工夫をしている。歩行器の方が多くなり時にトラブルもありテーブルの位置の調節、椅子の位置、などその都度、思いに添えるよう工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅の部屋をなるべく再現して頂けるようお願いしている。テレビ、やラジオ、新聞の購読など本人が、居心地よく過ごせるようにしている。	ご利用者には使い慣れた家具や時計などをお持ち込み頂き、居室にホームでの写真やご家族の写真、カレンダーを飾るなどして、その人らしい部屋作りの工夫をしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援にむけてトイレの場所や部屋が分からなくならないように明記し、個人のアセスメントから見極め自立した生活が送れるようにしている。		

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない